

普及現地情報

発信年月日:令和6年(2024年)10月17日
所属名:東近江農産普及課東部
番号:D24011
発信者名:猪田、軸屋、次世代地域営農支援チーム



省力的で環境にやさしいニンジン栽培技術を実証

東近江市八日市地域では令和7年度から約650haで国営ほ場整備事業が計画されており、ほ場整備事業完了後には200ha強の面積で高収益作物の生産が計画されています。関係機関・団体では、高収益作物の一つとしてニンジンを推進することとしていますが、人材の確保と収益性の向上が課題となっている中で、より効率的な栽培体系の確立が求められています。

そこで、グリーンな栽培体系転換サポート事業を活用し、省力化が可能で除草剤の削減が可能な畝間の機械中耕除草技術の実証を計画し、その実演会を9月5日および9月20日に開催しました。両日とも、集落営農法人や農家、関係機関・団体あわせて約20名の参加がありました。

ニンジンでは、栽培期間中に使用できる除草剤が少なく、手で除草作業を行うことが少なくありません。また、八日市地域では、部会で環境こだわり栽培に取り組んでおり、除草剤の使用回数が限られているため、除草剤を最小限に抑えた栽培体系の確立が急務であることから、条間を機械で中耕作業することで抑草できないかを実証しました。さらに2回目の作業時には施肥も同時に行い、さらなる省力化を目指しました。

今後、技術の効果確認や課題の整理等行いながら、効率的で環境にやさしく、収益力がある新しい水田農業の確立に向けて、関係機関・団体が連携して技術の確立と普及拡大を目指していきます。



写真1 1回目の中耕作業



写真2 2回目の中耕同時施肥作業